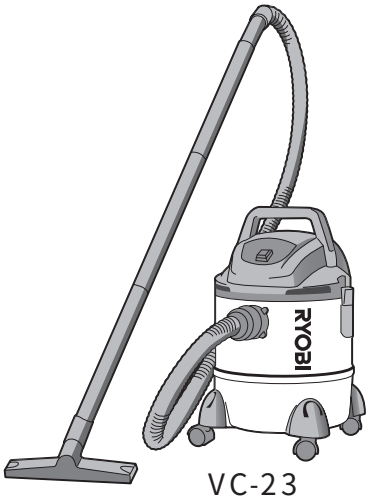
RYOBI

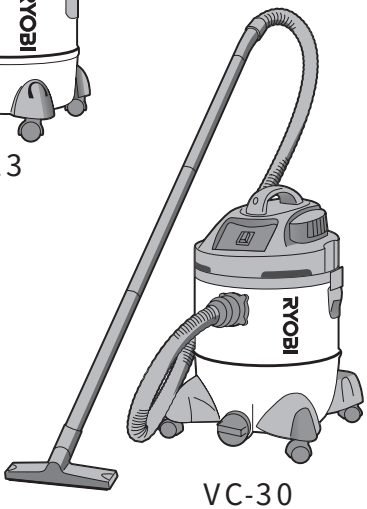
集じん機

VC-23
VC-30

取扱説明書



VC-23



VC-30

もくじ

■安全上のご注意 …… 1～5
■各部の名称・仕様 …… 6
■梱包明細 …… 7
■ご使用の前に …… 8～9
■操作方法 …… 10～13
■作業方法 …… 14～17
■保守と点検 …… 18～19

乾湿両用

屋 内 用

二重絶縁

このたびは、リョービ集じん機をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

6985638

安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警 告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

⚠警 告

6. 無理して使用しないでください。
   ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
   ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. コードを乱暴に扱わないでください。
   ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
   ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
   ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
   ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
   ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
   ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
   ・使用しない、または修理する場合。
   ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
   ・その他危険が予想される場合。

⚠警 告

15. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
    - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - ・常識を働かせてください。
    - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
    - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
      取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
      スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
    - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
    - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
    - ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
    - ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつけください。
    - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

集じん機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、集じん機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

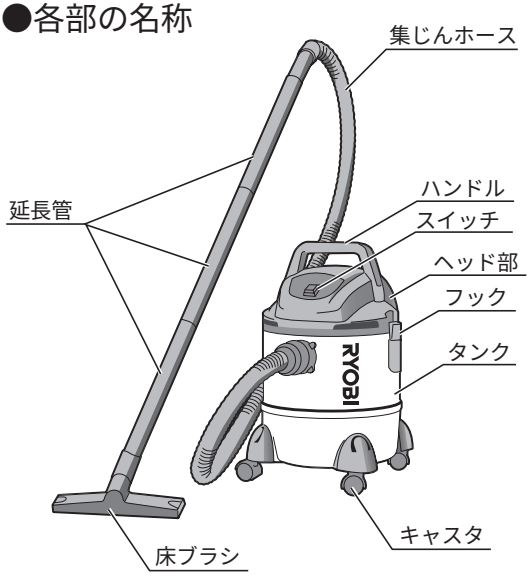
1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
   ・表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 雨中、ぬれた場所、湿気の多い場所で使用しないでください。
   ・感電の原因になります。
   ・乾湿両用タイプでも防水構造ではありません。
   モーターがぬれるような使い方をされますと、モーターの絶縁低下、感電事故、錆発生の原因になります。
3. 引火の恐れのある揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）や化学薬品、薬剤類、タバコの吸殻などの吸込み、および周辺での使用はしないでください。
   ・引火、爆発、火災の原因になります。
4. 使用中は、吸込口周辺や回転部に人や動物の手や顔などを近づけないでください。
   ・けがや思わぬ事故の原因になります。
5. 集じん機が使用中に転倒した時は、ただちに電源を切り、機体を立て直してください。
6. 乾湿両用タイプの場合、湿式での使用時に吸込んだ水の量がタンクの規定量を超えると、中のフロートが作動して吸込まなくなります。
   ・ただちにスイッチを切って、タンク内の水を排出してください。
   なお、フロートが作動した状態で吸込みが停止しても、モーターは回転したままの状態です。
7. ご使用前には、必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないでください。
8. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
   ・そのまま使用しますと、けがの原因になります。

⚠注 意

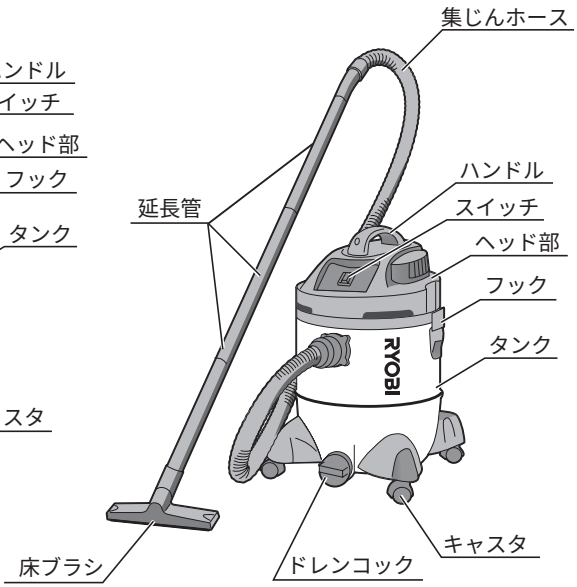
1. 湿式で使用された後は、タンク内を十分乾かしてから乾式集じんを行なってください。
   ・濡れた状態のままで乾式集じんを行ないますと、フィルタ表面に粉じんが貼り付き目詰まりの原因になります。
2. 乾湿両用タイプの乾式使用時に、フィルタなしで粉じんを吸込むと、吸込んだ粉じんが飛散することになります。
   必ずフィルタを装着して吸じん作業を行なってください。
3. タンク内に溜まったものは、運転終了後排出してください。
   ・そのまま放置しますと、悪臭やカビ、錆発生の原因になります。

各部の名称・仕様

●各部の名称



VC-23



VC-30

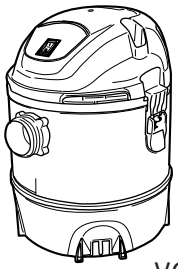
●仕様

モデル	VC-23	VC-30
タイプ	乾湿両用	
電源	単相･交流 100V 50/60Hz	
定格電流	11A	
消費電力	1,050W	
吸込仕事率	310W	
最大風量	3.6m^3/min	
最大真空度	16.2kPa	
集じん容量（液体）	14ℓ（14ℓ）	21ℓ（21ℓ）
電源コード	2.5m	
機体寸法 （長さ×幅×高さ）	355×330×520	440×380×580
質量	4.3kg	5.7kg
絶縁方式	二重絶縁	

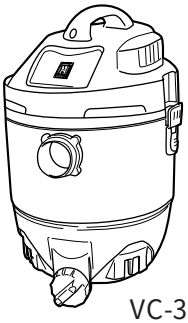
梱包明細

●箱から出した際に、下記部品が揃っているかご確認ください。
（注）本体のタンク内にも収納してあります。
（ヘッド部の取外し方は、P11「フィルタの取付け」参照）

・本体

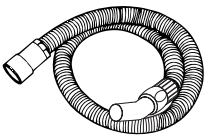


VC-23

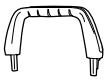


VC-30

・集じんホース
内径 32mm×長さ1.8m

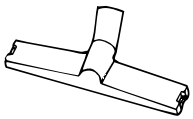


・ハンドル（VC-23）



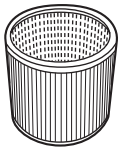
・延長管（3本セット）

・床ブラシ



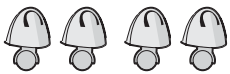
・スキマノズル

・カートリッジフィルタ
（本体取付）（乾式用）



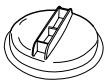
・スポンジフィルタ
（湿式用）

・キャスタ（4個）



・ネジ（VC-23　6本）
（キャスタ、ハンドル取付用）

・フィルタロック
（本体取付）



・ネジ（VC-30　4本）
（キャスタ取付用）

・取扱説明書

本機は、ご使用前に組立が必要な部品があるため、次の工具を用意してください。
必要工具：プラスドライバ

※改良のため部品の形状、色調が異なることがあります。

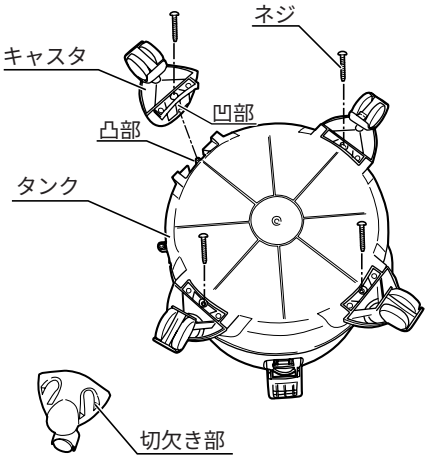
ご使用の前に（各部の組付け）

⚠ 警 告

・各部の組立て、部品交換などの際には、スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因となります。

●キャスタの取付け

1. タンク底面を上に向けて置いてください。
2. タンク底部のキャスタ取付部の凸部にキャスタの凹部を合わせて奥までさし込みます。
3. 4ヵ所とも確実に押込み、ネジで固定します。



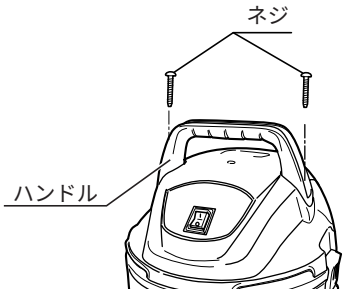
キャスタ（VC-30）

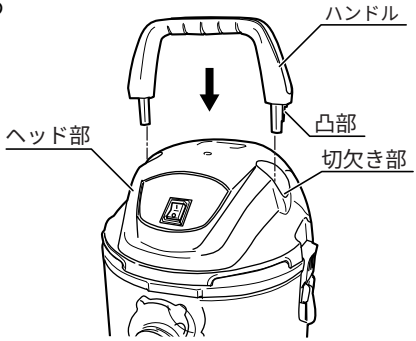
キャスタの取付け位置について（VC-30）

・キャスタ4個の内、2個に延長管などの収納ができる切欠きがあります。
キャスタを取付ける際は、収納し易い位置に取付けてください。（P18「収納方法」参照）

●ハンドルの取付け（VC-23のみ）

・ハンドルは右図の向きでさし込んでください。
ハンドルの凸部をヘッド部の切欠き部に合わせてさし込み、ネジ2本で固定します。



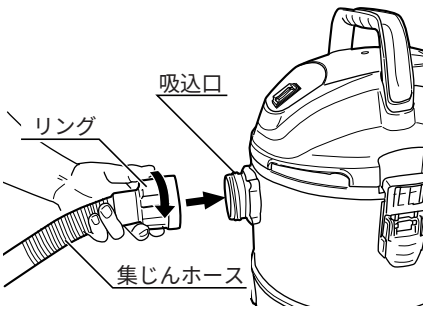


●フィルタの確認

・出荷時には、カートリッジフィルタ（乾式用）が取付けてあります。湿式でご使用の場合はP11～12の「フィルタの取付け」を参照のうえ、付替えてください。

●集じんホースの取付け

・タンクの吸込口に集じんホースを挿入し、集じんホースのリングを右方向にいっぱいに回して固定します。



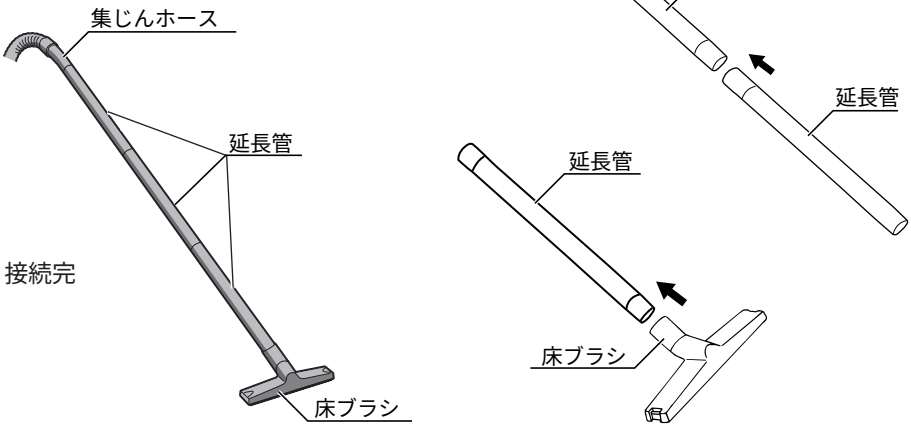
●延長管、床ブラシの取付け

・集じんホースの端に延長管をさし込んでください。

（注）抜け落ちないように奥までしっかりとさし込んでください。

・同様に残り2本の延長管を接続します。

・延長管の先端に床ブラシを取付けてください。



操作方法

⚠ 警 告

・電源プラグを電源コンセントに接続する前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・明るいところで使用してください。
・作業の際は、安定した状態で使用してください。
・部品の接続、調整の際は安全のため必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・安全のため必ず保護めがねや、粉じんの多い作業では防じんマスクなどの保護具を着用してください。

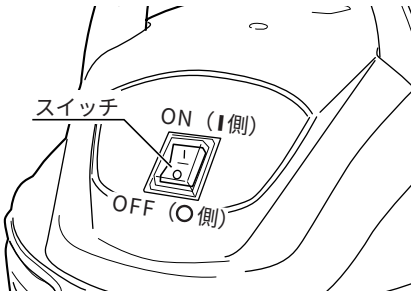
●電源の接続とスイッチの操作

⚠ 警 告

・引火の恐れのある微粒粉じん、揮発性可燃物(シンナー、ガソリンなど)や化学薬品、薬剤類、タバコの吸殻などの吸込み、および周辺での使用はしないでください。
引火、爆発、火災などの原因になります。

・ホース、延長管、床ブラシなどを取付けた後、集じん機の電源スイッチが切れて（OFF)いることを確認してから、電源プラグを電源コンセントにさし込み、接続します。

・スイッチはシーソー型スイッチです。
『I』側を押すとスイッチが入り、『O』側を押すと切れます。
使わないときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



●フィルタの取付け

⚠ 警 告

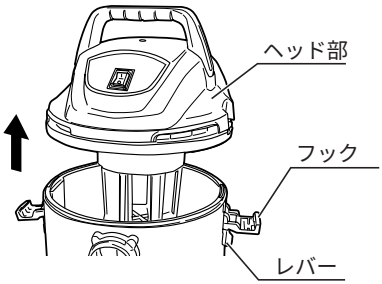
・フィルタの取付け、交換の際には、スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

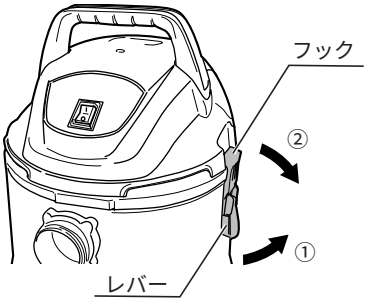
⚠ 注意

・フィルタは必ず取付けて使用してください。フィルタなしで使用すると粉じんが飛散します。
・フィルタは常に清潔に保ってください。目詰まりしたまま使用すると吸引力の低下やモーターの故障、悪臭発生や錆の原因になります。

（乾式使用の場合）

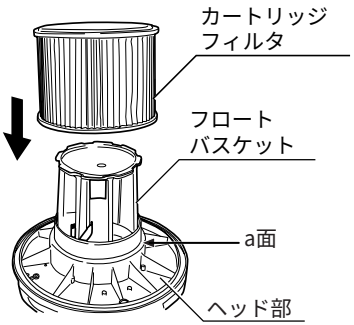
1. タンクとヘッド部を固定している2ケ所のレバーを起こし、フックを開いてヘッド部をタンクから取外します。



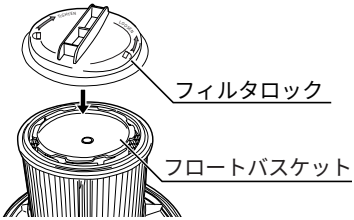


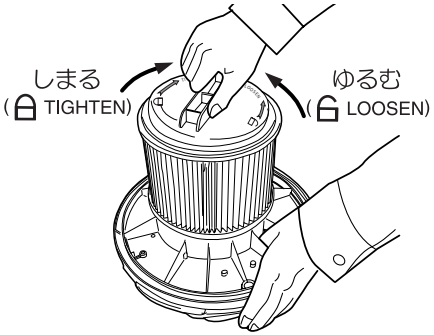
2. ヘッド部のフロートバスケットにカートリッジフィルタをさし込んで取付ます。

（注）カートリッジフィルタには上下の区別はありません。
カートリッジフィルタは、ヘッド部のa面に当たるまでしっかりさし込んでください。

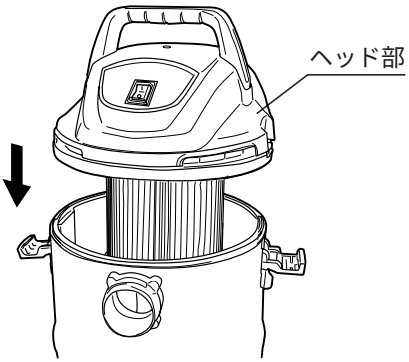


3. フィルタロックをフロートバスケットの上面に取付けます。フィルタロックを軽く押さえるようにし、右に回して取付けます。

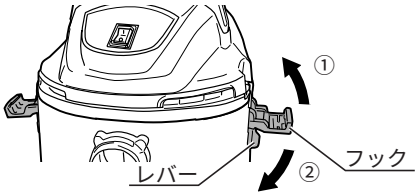




4. ヘッド部の前後方向を確認した後、タンクにヘッド部をさし込みます。
フックをヘッド部の外周に掛け、それぞれレバーを降ろしてタンクとヘッド部を正しく組付けてください。



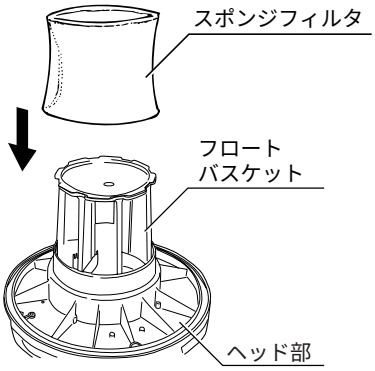
・フィルタの取外しは、取付けと逆の要領で行なってください。



(湿式使用の場合)

1. タンクとヘッド部を固定している2ケ所のレバーを起こし、フックを開いてヘッド部をタンクから取外します。
2. ヘッド部のフロートバスケットにスポンジフィルタをさし込んで取付けます。
3. ヘッド部の前後方向を確認した後、タンクにヘッド部をさし込みます。
フックをヘッド部の外周に掛け、それぞれレバーを降ろしてタンクとヘッド部を正しく組付けてください。

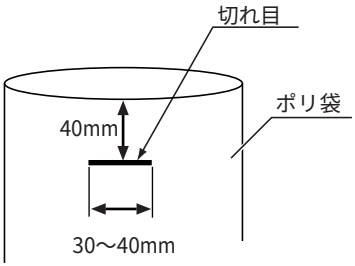
・フィルタの取外しは、取付けと逆の要領で行なってください。



●ポリ袋（市販品）を使用する場合

（注）市販品のポリ袋は45ℓ（幅530mm×深さ600mm）が使用可能です。
但し、厚さ0.04mm以上のものをご使用ください。

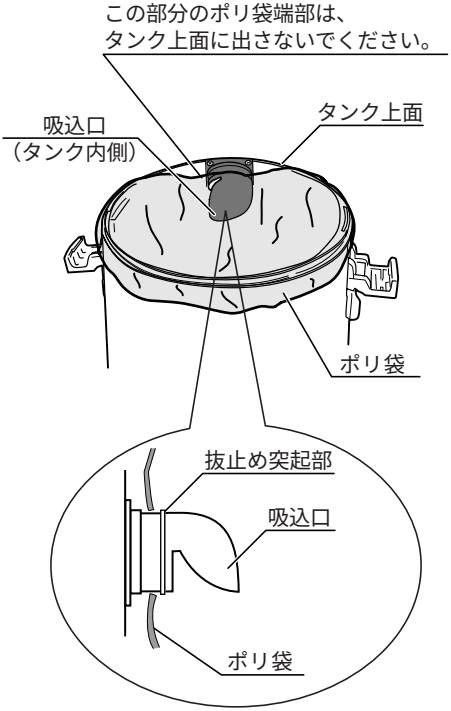
1. ポリ袋の端部から約40mmのところに30～40mmの切れ目を入れます。



2. タンクとヘッド部を固定している2ケ所のレバーを起こし、フックを開いてヘッド部をタンクから取外します。

3. タンク内側の吸込口にポリ袋の切口をさし込みます。このとき吸込口の抜止め突起の奥側まで押込みます。

4. ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引出します。
吸引口部のポリ袋の端部は、タンクの上面から出さないでください。



5. ヘッド部の前後方向を確認した後、タンクにヘッド部をさし込みます。
フックをヘッド部の外周に掛け、それぞれレバーを降ろしてタンクとヘッド部を正しく組付けてください。

作業方法

●運転

⚠ 警 告

1. 電源コンセントに電源プラグをさし込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
   ・スイッチが入ったまま電源プラグを電源コンセントに接続すると、急に動き出し事故の原因になります。
2. 湿式での使用の場合は、安全のため、ゴム製の手袋やゴム底の長靴を着用して、感電事故のないよう注意してください。
3. 湿式での使用では、吸込んだ液体を排出する時に(安全のため)、必ず事前に集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
4. 湿式での運転中、集じん機が転倒した場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

1. 湿式での使用では、吸込んだ液体が規定量に達すると、内部のフロートが働いて吸込みを停止します。
   このとき、吸込みは停止してもモーターは回転を続けていますので、速やかに電源スイッチを切りモーターの回転を止めてください。
2. 湿式での使用中に、本体の移動や傾きにより、ホース取付口などから吸込んだ液がこぼれたリ、スイッチOFF時にホースや延長管などに残った液が垂れて、周囲を汚すことがあります。本体の置き場所やスイッチOFF時には十分注意してください。

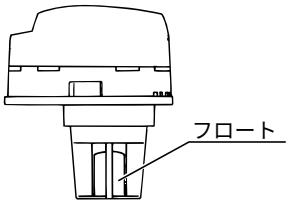
●乾式運転

・必ずカートリッジフィルタを装着してから使用してください。
（注）スポンジフィルタを取付ける必要はありません。
・使い易い長さに合わせて延長管を付けてください。
・タンク内に溜まった粉じんなどの量を確認し、タンクの約半分になったら粉じんを排出処分してください。（P17「粉じん、液体の捨て方」参照）
（注）湿式で使用された後は、タンク内を十分乾かしてから乾式集じんを行なってください。
濡れた状態のままで乾式集じんを行なうと、フィルタ表面に粉じんが貼り付き、目詰まりの原因になります。

●湿式運転

・必ずスポンジフィルタを装着してから使用してください。
（注）カートリッジフィルタは付けないでください。
・乾式運転で吸込んだ粉じんは必ず排出してから湿式運転を行なってください。
・使い方は乾式運転と基本的に同じですが、タンク内に溜まった液体の量に注意してください。
吸込んだ液体がタンクの約半分になったらタンク内の液体を排出処分してください。
・一定量吸込むと、内部のフロートが働いて吸込みを停止します。
停止を確認したら、ただちに電源スイッチを切り（OFF）、集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・タンク内部の液体をこぼさないよう、排出してください。（P17「粉じん、液体の捨て方」参照）

（注）本体の移動や傾きにより、ホース取付口などから吸込んだ液がこぼれたリ、スイッチOFF時にホースや延長管などに残った液が垂れて、周囲を汚すことがあります。本体の置き場所やスイッチOFF時には十分注意してください。



フロート機構について

⚠ 警 告

・フロート機構が作動したままで、運転を続けないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損など故障の原因になります。
・洗剤など発砲性の液体や泡を吸込ませないでください。
フロートが作動する前に空気の出口から泡がふき出します。
そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

本機には、一定量以上の水を吸込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。
フロート機構が作動すると、水を吸込まなくなります。そのときは、速やかにスイッチを切り、タンク内の水を捨ててください。

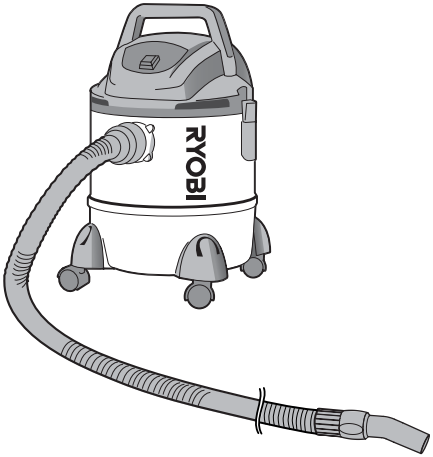
●電動工具と接続する場合

⚠ 警 告

・グラインダ、切断機などでの金属切断、研削作業など火花が発生する作業には接続しないでください。火災の原因になります。

・電動工具と接続して使用する場合は、集じん機に接続する集じんホースと電動工具の排出口に集じんノズルなどが必要な場合があります。接続する際は、電動工具の取扱説明書をお読みのうえ、正しく接続してください。

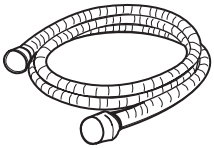
（接続例）



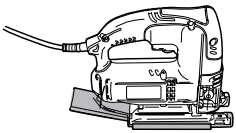
集じんホース
（内径 32mm）

集じんホース（別販売品）

（集じん機側）　（電動工具側）
〔外径 38mm ― 外径 30mm〕
〔外径 38mm ― 内径 38mm〕



電動工具



接続する電動工具によって、集じん用のアタッチメントが必要になる場合があります。

●粉じん、液体の捨て方

⚠ 警 告

・必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにしないでください。
ヘッド部（モーター部）、スイッチ部に液体が入り、感電やモーター故障の原因になります。

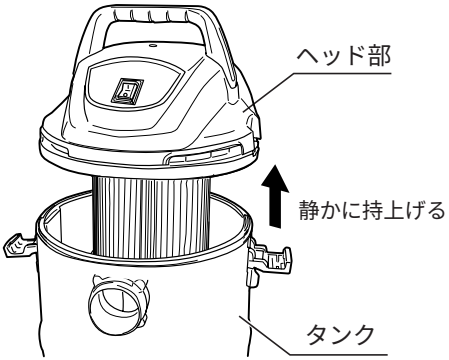
⚠ 注 意

・タンクに強い衝撃を与えないでください。変形、破損の原因になります。
・粉じんの吸込量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日１回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸引力の低下やモーターの故障、悪臭発生や錆の原因になります。
・タンク内の粉じんを捨てるときは、フックを持たないでください。フックが破損する原因になります。

1. タンクとヘッド部を固定している2ケ所のレバーを起こし、フックを開いてヘッド部を持上げ、フィルタに付着した粉じんをタンク内に落としてからヘッド部を静かに取外します。

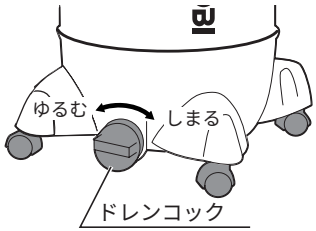
2. タンクを倒し、粉じんまたは液体を捨てます。

3. ヘッド部の前後方向を確認した後、タンクにヘッド部をさし込みます。フックをヘッド部の外周に掛け、それぞれレバーを降ろしてタンクとヘッド部を正しく組付けてください。



●ドレン口より排出（VC-30のみ）

・湿式使用の場合、タンク内に溜まった液体をドレン口より排出することができます。
ドレンコックを回して取外し、ドレン口より捨ててください。



保守と点検

⚠ 警 告

・保守、点検、部品交換などお手入れの際には、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電事故の原因になります。

●各部取付けネジの点検

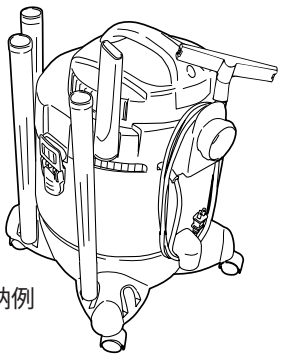
・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

・使用後は、内部に溜まった粉じんなどを取除いてください。
また、フィルタなどに付いたホコリなども取除いてください。
・乾式で集じんを重ねますと、フィルタが目詰まりを起こし、集じん力が弱くなります。
時々、フィルタに溜まった粉じんを取除いてください。
・集じん力が弱いと感じたら、フィルタを取出し、屋外など粉じんの影響の無いところでフィルタを持ち、軽く左右に振るなど、はたいてください。
（注）粉じんをはたくとき、ホコリが周囲の迷惑にならないところで行なってください。
風向きを考えてください。
強くフィルタをはたくと、フィルタ損傷の原因になります。
・スポンジフィルタの汚れ具合を点検してください。汚れが目立つ場合には、中性洗剤を溶かした水で軽く押し洗いを行ない、汚れを取除いた後、清水で十分すすぎ、形を整え乾かしてから使用してください。
（注）カートリッジフィルタは水洗いしないでください。
・ホースや延長管、床ブラシなどは、いつも清潔にしておいてください。
ホースや延長管、床ブラシなどを水で洗った後は、よく乾かしてください。
ヘッド部、タンクなどは、乾いた布などで汚れを拭き取り、いつも清潔に保ってください。
・ヘッド部には水を掛けないでください。乾湿両用タイプでも防水構造ではありません。
・揮発性の溶剤やガソリン、シンナーなどで洗ったり、拭いたりしないでください。

●収納方法

・キャスタ、ヘッド部に延長管やノズルなどの収納に便利な切欠きが数カ所あります。延長管、ノズルなどをさし込んでください。
・本体後方に電源コードを収納するのに便利なフックがあります。電源コードを引っ掛けてください。



収納例

●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111　FAX.(052)806-5141